

世界の気候帯と雨温図

世界の姿 日本の姿 **気候と暮らし** アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

世界の気候は、どのように分かれているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 五つの気候帯

気候帯

きこうたい 気候帯

気温と降水量のちがいがから、世界の気候を五つに分けたものの。

こうざんきこう 高山気候

標高が高いため、同じ緯度の低地より気温が低い気候。

世界の気候は、気温と降水量のちがいがから、**熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯(亜寒帯)・寒帯**の五つの**気候帯**に分けられる。気候帯は、赤道付近の熱帯から両極に近い寒帯まで、おおむね**緯度**にそって帯のように並んでいる。

熱帯には、一年中雨が多い**熱帯雨林気候**と、雨季と乾季のある**サバナ気候**がある。乾燥帯には、ほとんど雨が降らない**砂漠気候**と、たけの短い草原が広がる**ステップ気候**がある。冷帯は北半球の高緯度にだけ見られ、寒帯には**ツンドラ気候**と**氷雪気候**がある。

また、アンデス山脈などの標高の高い所には、同じ緯度の低地より気温の低い**高山気候**が見られる。

2 雨温図の読み方

雨温図

うおんず 雨温図

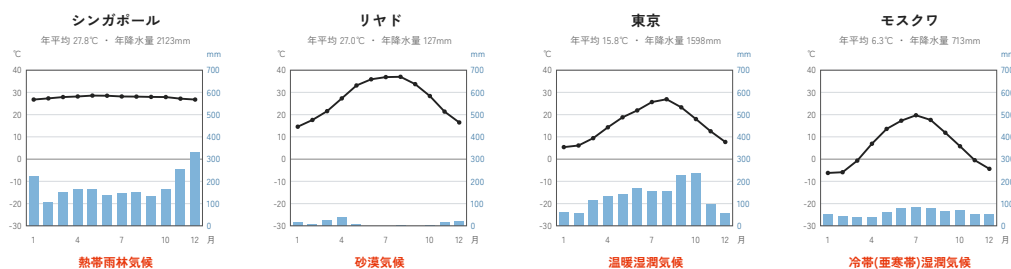
月ごとの平均気温と降水量を、一つに表したグラフ。

おんたい 温帯

四季の変化があり、人口の多い地域が集まる気候帯。

雨温図は、月ごとの平均気温を**折れ線グラフ**で、降水量を**棒グラフ**で表したものである。気温は左の目盛りで、降水量は右の目盛りで読む。気温が0℃を下回る月があるか、雨の多い月と少ない月がはっきり分かれているかに注目すると、その土地の気候の特色がつかみやすい。

温帯には、夏に雨が多い**温暖湿潤気候**、夏に乾燥する**地中海性気候**、高緯度のわりに冬も暖かい**西岸海洋性気候**などがある。下の雨温図を見くらべると、気温の高さや雨の多さが気候帯ごとにちがうことがわかる。



気温(折れ線・左の目盛り)と降水量(棒・右の目盛り)。どの都市も同じ目盛り。1991~2020年の平年値(気象庁ほか)。

問いへの答え

世界の気候は、気温と降水量のちがいがから、**熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯(亜寒帯)・寒帯**の五つの気候帯に分けられる。気候帯は、赤道付近から両極に向かって、おおむね緯度にそって帯のように並んでいる。また、標高の高い所には高山気候が見られる。気候のちがいは、雨温図を見くらべるとよくわかる。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

